

みんなのた場



河北地区・三輪田

狩野 優来ちゃん (8歳・二俣小2年)

駿人君 (5歳・河北幼稚園)

明音ちゃん (7歳・大川保育園)

両親の陸上競技好きの影響で、3人の子どもたちは体を動かすことが大好きです。

優来ちゃんの夢は「オリンピックの陸上競技の選手、痛くない注射をつくれる研究者」。目標を一つずつクリアしていける努力家です。

弟の駿くんは何でもお姉ちゃんのまねっこばかりですが、整理整頓がとても上手で、玄関の靴もきちんと



伸び伸びと育つ子どもたち

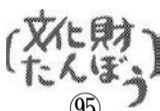
3人とも運動が大好き



航行する船舶の安全を見守る金華山灯台



金華山灯台の西側外観



金華山灯台 国の登録有形文化財へ 明治9年に初点灯 生涯学習課

牡鹿半島の沖合に浮かぶ金華山の南東端には明治期に建設された金華山灯台が

今もなお現役で船舶の航行を見守っています。

この灯台はイギリス人土

国登録有形文化財へ

生涯学習課



観光課

高馬 一世さん 38歳

姫路市から派遣

さすが水産のまち

これまで姫路市から派遣された職員は、派遣期間終了後も毎年石巻を訪れるほど、このまちのとりこです。かく言う私も、2カ月足らずで人、食、自然の魅力にあふれた石巻のファンにな

りました。特に食のレベルの高さは庄巻で、まさしく日本有数の水産のまちであると感じます。

市民の皆さんは、そんな石巻のすごさは当然のことだと思いでしょすが、私からするとうらやましく、また、何よりも皆さん自身にその魅力を改めて発見していただきたいと感じます。そのお手伝いができるよう頑張ります。

生活再建支援課

松本 真里さん 52歳

大分県玖珠町から派遣

変わらない温かさ

実は4年前にも石巻への派遣経験があります。九州北部豪雨のため故郷が被災し、急に戻ることになって以来、ずっと心のどこかに石巻の皆さんのことが気にかかっていました。

当時は休日にはボランティア作業に参加し、たくさんの人情に触れました。風景は変わり時間の経過を感じましたが、石巻の人とまちの温かさは変わっていません。一人一人の抱える背景や事情が異なる中、仮設住宅に暮らす方々の再建まで力になれるように努めています。故郷の友人に石巻を自慢できるよう、全力を尽くします。



キラッとパチリ

「ありがとう」のお手紙を募集

皆さんからの投稿をお待ちしています。テーマに沿ったあなたのとおきのお話をお寄せください。

テーマ 「ありがとう」
日常生活の中で、皆さんの「ありがとう」に関する逸話(エピソード)を

字数
投稿方法

お聞かせください。
400字以内
住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、郵送またはEメールで秘書広報課までお送りください。掲載の場合はペンネームを可能としますので、ペンネーム希望の場合はその旨を明記してください。

注意事項

公序良俗に反するもの等やスペースの関係上、投稿いただいたものを掲載できるものではありません。また、字数などの関係で内容を調整させていただきます。

☎

秘書広報課 (内線4784)
〒986-8501 (住所不要)
✉ ispubinfo@city.ishinomaki.lg.jp

まちの話題

住民の協力で完成しました

旧雄勝町が昭和42年9月から月1回発行していた「広報おがつ」のほぼ全号の復刻版ができました。

NPO法人雄勝まちづくり協会が住民らの協力で実物を集め、モノクロコピーして全10巻にまとめました。

453号のうち昭和52年5月1日発行の117号だけがないそうです。協会が運営する民営公民館「オーリンクハウス」で公開していて、「懐かしい」と話題になっています。



雄勝地区

「広報おがつ」を第1号から復刻

河北地区

「つなぐ」大切さ 後世に残す

東日本大震災で大きな被害を受けた釜谷地区の鎮魂と再生を祈念する釜谷観音桜の植樹の完了式典が4月16日、釜谷観音堂跡で開かれました。

震災や植樹の記憶を後世に「つないでいく」決意を込め、全員で長さ8メートルののり巻きを作って味わい、完了を祝いました。活動では、阿部良助さんら地区住民が長野市の大山桜の会などの支援を受け、地区を囲む山際などに大山桜計297本を植えました。



釜谷観音桜の植樹完了式典

キリリと49人 決意を新たに

消防団桃生地区団の辞令交付式が4月3日に桃生総合支所会議室でありました。

本年度新たに幹部となった団員と新入団員、合わせて49人に辞令が手渡されました。

辞令を受け取った団員たちは、地域住民の安心・安全のために、消防団活動に取り組んでいく決意を新たにしていました。桃生地区団は六つの分団があり、総勢252人が活動しています。



桃生地区

消防団桃生地区団で辞令交付式

河南地区

復興防災マップを高く評価

消防庁主催の平成28年度優良少年消防クラブ表彰で、和瀨小学校が消防庁長官賞を受賞しました。日ごろから防火・防災に関する訓練を実施しているほか、モデル校の指定を受けて当時の6年生23人が復興防災マップづくりを行い、高い評価を受けました。

表彰式典は3月25日に東京であり、4月に石森和義校長から新6年生に表彰状が伝達されました。



和瀨小に消防庁長官賞

華やかに勇壮に みこし渡御

金華山黄金山神社の初巳大祭のメイン行事「みこし渡御」が5月7日にありました。

神職や牡鹿半島各浜の氏子らが集まって、稚児や女性たちが扮した七福神などの行列を作り、最後に白装束の男性が担ぐみこしが繰り出しました。総勢150人の華やかで勇壮な行列は、本殿から船着き場まで約1キロを練り歩き、観光客の関心を集めました。初巳大祭は神社の春の一大行事です。



牡鹿地区

金華山で初巳大祭

北上地区

「北限の産地」目指し苗木250本

オリーブの特産品化を目指している石巻市北限オリーブ研究会のオリーブ定植作業技術指導会が4月13日に北上地区で開かれました。

会員ら約70人が、40アールの畑に3～5年育てた2品種の苗木250本を定植しました。

香川県小豆島でオリーブを生産している法人代表の荒井信雅さん(57)が指導に当たり、定植する所は深く掘らず、高めに土を盛るよう助言していました。



オリーブ定植作業で技術指導会

手作り「端午の節句」祝う

「端午の節句」(5月5日)にちなんだつるし飾り展が4月12日～5月14日、中里6丁目のギャラリーカフェ・ヌーンで開かれました。

約20連の作品は、店主の片岡多美子さん(71)と娘さんが、古布の模様を生かして作ったかぶとやアニメキャラクター、魚など約1,500個をひもでつるしたものだ。つるしびなの男の子版として、毎年、訪れる客の関心を集めています。



石巻地区

つるし飾り展

石巻地区

ヒーローに声援送ったヨ!!

石ノ森萬画館の「春のマンガタン祭り」が5月3～5日、隣接の中瀬公園で行われました。

「こどもの日」の5日は、石巻のヒーロー「シージェッター海斗」のショーがあり、子どもたちは悪者と戦う海斗に声援を送っていました。

期間中、マンガ缶バッジなどを作るワークショップ、市のゆるキャラ「いしびよん」と遊べる催しなどがあり、多くの家族連れでにぎわいました。



春のマンガタン祭り